



公民館報

# 海陽

4月号  
No.88

文化村HP  
QRコード



QRコードに  
アクセスすると  
海南文化村HPが  
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2021年4月1日発行

海陽中学校 防災学習を兼ねた野外体験活動の様子



みんなで準備



カレーいっぱい



搬送方法実技



消火器訓練

# 公民館大会に代えて

日頃は町民の皆さまには、公民館活動にご協力いただき誠にありがとうございます。さて、3月7日に、海陽町公民館大会の開催を予定してありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。

公民館大会では、愛媛県西予市遊子川<sup>ゆすかわ</sup>公民館主事の芝陽介氏による公民館の取り組みについてご講演いただく予定でした。今回は講演に代えて本記事で遊子川公民館の取り組みをご紹介します。

## 1. 愛媛県西予市城川町遊子川とは

愛媛県南予北部に位置し、東部は高知県梶原町と四国山地の分水嶺をもって接しています。四国山地の美しい山並みに囲まれ、標高100～1,100mと急峻な地形ですが自然の多様性に富んだ地域といえます。基幹産業は農林業。人口減少が加速し、令和2年12月末時点で人口280人、高齢化率は58.4%となっており、地区内の様々な行事運営に影響が出ています。



## 2. 遊子川地域の現状から地域について考える

平成21年1月、遊子川公民館主催の遊子川地区社会教育セミナーにおいて、遊子川の現状と将来予測されるデータを基に『ゆすかわを考える』をテーマに住民による学習会を開催。住民は「このままでは近い将来本当に集落が消滅する、すぐに行動しなければならない」ということに気が付きました。翌年も公民館が中心となり、地区存続のためには何をすべきかということを議論していきました。

## 3. 遊子川もりあげ隊の結成

平成22年8月、遊子川地域活性化プロジェクトチーム（通称：遊子川もりあげ隊）を設立。住民ニーズの把握を行うために、住民アンケート調査を実施し、地域課題の洗い出しや解決するための手段を話し合いました。そうして、遊子川地区の10年後の集落の在り方を創造し実現するための5ヶ年計画書を策定。現在は平成28年度から始まった第2次計画を実践しており、自治総務部、福祉部、産業部、教育文化部の4つの専門部に分かれ活動を行っています。



## 4. 徐間伐材を活用した木工事業

少子高齢化や人口減少に伴い、山林の手入れが行き届いていない多くの放置林があったため、木製クラフトを通じた地域コミュニティ再生事業に取り組みました。閉所になった保育所を木工所として活用し「ユスモク・クラブ」を設立。専門家の指導による木工教室の開催や木工作品の展示販売を行いました。また、地域全体を展示場に見立てて木工作品をPRすることで、木工に携わらない住民にも関心を持ってもらい、趣味や生活の中に木工を取り入れ楽しむことが出来るようにしています。

## 5. 特産品開発事業

遊子川では夏秋トマト、ピーマン、シシトウなど様々な作物の作付けが行われています。特に標高 600~700 m の高地で栽培されている大玉トマトは、昼夜の寒暖差の影響で甘味と酸味のバランスの取れた味の良い高品質なものです。そんな遊子川の 1 番の農産物であるトマトの中で流通に乗せることが出来ない規格外品を使用し、女性グループを中心として特産品開発に励みました。トマト酢の完成とともに、昔からユズ農家がポン酢を作っていたことを参考に、トマト酢を活用した「トマトユズボン」が完成しました。特産品開発班は平成 28 年に企業組合遊子川ザ・リコピズとして法人化され、現在ではトマトケチャップやトマトソース、ドレッシング、青トマトの粕漬など全部で 7 種類の加工品の製造販売や食堂ゆすかわの運営を行っています。普段は地域住民が交流や休憩に利用できる空間として開放されており、毎週水曜日と第 4 日曜日は食堂ゆすかわの営業日。地域で採れる米や野菜、リコピズが開発した加工品を使ったメニューを提供しています。また、毎週木曜日は弁当の製造を行い近隣地区へは配達も行っていきます。



## 6. 映画「食堂ゆすかわ」



中四国地区公民館研究集会において、地域を活性化させる手法として映像を使う方法の講演があり、遊子川地域コミュニティの活性化と地域の効果的な PR に活かせないかと取組みを始めました。愛媛を舞台にした自主映画の会「ヒメブタの会」に依頼し、住民参加の映画を自主製作しました。地域からは出演者 62 人、裏方など協力をいただいた方 100 人以上と、地域を巻き込んだ取り組みとなりました。映画は遊子川の自然の美しさや外の人間から見た魅力と、地域を愛する住民の美しさが詰まったものとなり大変反響の大きな事業となりました。

## 7. トマトオーナー制

特産品の開発が進む中、原材料を供給するトマト農家の高齢化や後継者不足の課題が上がっています。人口減少はなかなか止めることが出来ないため、まずは遊子川のファンを作り将来の移住へと繋がればと未来に種をまく取り組みとして、農家への移住ツアーの受入や 1 口 5 株のトマト苗を購入し農家に育ててもらい「遊子川トマトオーナー制度」を行っており都市部の方たちと継続的に交流を図っています。



## 8. 表彰

総務省が実施する平成 28 年度ふるさとづくり大賞では、住民全員で取り組む地域づくり活動が評価され遊子川もりあげ隊が総務大臣賞を受賞。活動拠点である遊子川公民館も平成 28 年度に全国優良公民館表彰最優秀館を受賞しました。また、リコピズのトマトユズボンがフードアクション・ニッポンアワード 2018 で 100 産品に入賞し、ディスカバー農村漁村の宝の優良事例 32 団体に選定されました。

## 9. 終わりに

どこの地域にもそれぞれ文化や自然があります。公民館活動で培ってきたふるさとを大切に思う気持ちや一体感、住民のやる気なども重要で貴重な地域資源であると考えています。これらを上手く掛け合わせる事が実際の生活に即した教育等の実践となり、地域課題に全住民で取り組む活動へと繋がっていくのではないかと思います。

# 人権を大切に する町づくり

## ― 賀川豊彦の生き方に学ぶ① ―

社会教育指導員 大石修 一

四国の各県を代表する人物として、香川県は弘法大師、愛媛県は正岡子規、高知県は坂本龍馬がよくあげられます。そして、徳島県を代表する人物としては、賀川豊彦があげられます。キリスト教信徒として戦前から戦後にかけて様々な社会運動に直接的に関わり、民衆の生活の向上、とりわけ、社会的弱者の救済に生涯を捧げた人物です。

賀川豊彦の父純一は、板野郡大幸村（現鳴門市大津町大幸）で生まれました。父の実家は代々造り酒屋を営んでいました。三男だったので、賀川家の長女みちに婿入りしました。その後、神戸に生活の場を定めて阿波藍を扱う商店を開業しました。豊彦の生母カメは純一が宴会の席

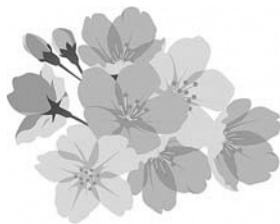
で見そめて一緒に暮らすようになった女性です。しかし、豊彦が4歳の時に父純一が、翌年には母カメが亡くなってしまいました。そこで、姉とともに板野郡堀江村で義母みちと祖母と一緒に暮らすことになりました。

吉野川のすぐ近くで自然に親しみながら少年時代を過ごしました。また、本好きで蔵の中で半日孤独な時間を過ごしてもいっこうに飽きなかったそうです。

徳島中学校在学時（現城南高校）に、神戸の商店が破産し賀川家もその借金返済のため田畑のみならず屋敷も売り払う始末で、豊彦は自身の学費・生活費を叔父に看てもらわなければなりません。こんな状況の中で、豊彦は勉強に打ち込みました。

この頃、英語を勉強するつもりでローガンとマヤス両宣教師のイングリッシュクラスを受講しました。両者と関わる中で豊彦は、キリストの教えに惹かれていくと同時に、特にマヤスとは深い関わりの中で最大の恩師になっていき、彼からキリスト教の洗礼も受けました。繊細で孤独、恵まれない環境の中で苦悩する豊彦に限りない愛情を寄せ、豊かな可能性を伸ばすため自分の子のように忍耐強く慈しんでくれました。

豊彦は、少年期にたびたび赤痢にかかり、神経衰弱や栄養失調そして肺炎はいせんカタルなど多くの病魔さらには経済的な貧苦と闘っていました。キリスト教の信者となった豊彦は東京の明治学院高等部神



学予科に進学しました。しかし、学校や寄宿舎の生活になじめず、キリスト教徒としての自覚も謙虚さも感じられない級友に容赦なく突っかかっていったため殴られ泣くことの多い毎日でした。しかし、2年目には寄宿舎も替わり新しい友だちにも出会い学業にも交友にも充実した生活を送りました。2年間の予科の修了に過ぎない豊彦ですが、明治学院の最も代表的な卒業生として今なお称揚され「賀川豊彦研究」の講座が開講されているほどです。

徳島中学校と明治学院の学校生活を通して、飽くなき学問への探究心と困っている人を見る行動を起さずにはいられない人格が養われていきましたが、体調はますます悪化し微熱が続き絶えず体のだるさと疲労感に悩まされるようになりました。そして咯血も始まってしまいました。そんなこともあり深い交流のあるマヤスが赴任することになった。新しい神戸神

学校に進学しました。9月開校

であったため、それまで愛知県

内の教会の応援に行きました。

豊彦は決まった仕事のある日曜

日以外も毎晩のように繁華街で

熱心に路傍伝道を40日以上も続

けました。とうとう過労で倒れ

高熱と喀血に襲われてしまい

「肺壞疽」の診断を受けてしま

います。牧師一家の献身的な看

護により何とか一命を取り留め

ることができました。豊彦は神

戸に移った後、スラム街で貧民

救済と伝道に取り組むことにな

るのも、この時の牧師の徹底し

た清貧生活と人間愛に影響され

たと言われています。神戸神学

校でも体調の悪さは続きますが、

病苦と貧苦の合間にも猛勉強は

続け哲学的思索はその深さを増

していききました。

1909年9月のある夜から、

豊彦は神戸のスラムで街頭伝道

を始めます。青白い学生の彼を

見て物珍しそうに足を止める人

の中には、提灯を壊したり、石

を投げつけたり、からかい半分

に議論をふっかける人もいまし

た。彼はひるむことなく毎晩立

ち続けました。そして、その年

のクリスマスの前日、豊彦は少

しの荷物とみすぼらしい身なり

のままスラム街に引越しをし

ました。貧民救済とキリスト教

伝道のためです。間なしに彼の

3畳と2畳の長屋には、昼夜を

問わず浮浪者や病人が居候をす

るようになりました。リウマチ

で足腰が立たなかつたものの豊

彦の献身的な世話で治つたのに

感謝して弟子となる人、彼に心

服しているかと思うと一変して

暴虐の限りを尽くす異常性格の

人、博徒で手に負えない無頼漢、

女たらしでしよつちゅう金をゆ

すりにくる人、無理矢理転がり

込んできた疥癬病みの人、ホー

ムレス。こんな人が次から次へ

とやってきます。しかし、豊彦

は暴力もドスによる脅しもこわ

いとは思いませんでした。むし

ろ、「こんなことでもなければ

スラムに来た甲斐がない

と考えていました。」さら

には、売り買いさされてい

る赤ちゃんを不憫に思い、

引き取る有様で、次のよ

うな詩を書いています。

・・・略・・・

ああどうして、かうまあ

世は不人情なんだろう

私や、お石からみたら、

地球はまるで、氷玉のや

うなものだね・・・略・・・

え、え、おいしも、可哀

相じゃが、私も可哀相じゃ、

力もないのに、こんなものを助

けちやならぬと、教えられた、

私ー私も、可哀相じゃね

・・・略・・・

お石を抱いて、キッスして、顔

と顔とを打ち合わせ、私の眼か

ら涙汲み、お石の眼になすくつ

て、

あれ、お石も泣いてゐるよあ

れ神様 おいしも泣いてゐます！

「涙の二分」より



鳴門市賀川豊彦記念館

《以下次号》

【参考文献】

賀川豊彦 林 啓介 著

人間賀川豊彦

黒田四郎 著

小中一貫教育（徳島モデル）推進地区事業  
**穴喰小学校6年生と穴喰中学生  
合同発表会**

—テーマ—  
「持続可能な穴喰の小・中学校とまちづくりにむけた教育活動の研究」

「小中一貫教育（徳島モデル）推進地区事業」とは、人口減少による少子化が進む中、小規模化する学校をコストをかけずに存続させ、かつ教育の質を保証することを目的としています。そして学校間や学校・地域との連携により学校の活性化を図り、学校の諸課題の解決と学校教育のさらなる充実を目指しています。また、子ども達が自ら課題を見付け、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることをねらいとしています。

穴喰地区はその推進地区となっており、2月4日（木）、穴喰小学校6年生と穴喰中学生が「ふるさとを愛し、叶えよう夢、みんなの力で～未来を切り拓く豊かな学び～」を目標に、これまで学んできたことを発表しました。穴喰中学校体育館で開催する予定でしたが、コロナ禍により、急遽ZOOM（オンライン会議システム）による画面越しの発表会となりました。

### 穴喰小学校6年生

「大好き穴喰プロジェクト」をテーマに、美しい海、清き穴喰の川、豊かな山、歴史や文化、穴喰を支える人々や産業について発表しました。竹ヶ島のサンゴの移植や穴喰川の生物、ヤッコソウが自生する鈴が峰わしづみお、鷲住王や八坂神社の歴史などを調べました。それらのことを調べていくうちに、人口が減少していく中で、こんなに大好きな穴喰の人口が減らないためにはどうすればよいのか、という課題が見つかり、みんなで話し合う、「キャッチボールタイム」の中で意見交換をしました。「穴喰の良さを活かした仕事を増やしてはどうか?」「大きなショッピングモールを作れば町外に出て行かないのではないか?」などたくさんの意見が出て、同じ目標を持ち話し合う良い機会となりました。そのほか、穴喰の自慢や魅力を伝えるイメージマップや、穴喰のPR動画など、工夫を凝らした内容でした。



### 穴喰中学校

防災や地域の現状について、調査し発表しました。コロナ禍における避難所の問題点や、役に立つグッズや防災リュックの中身や置き場所、いかに少量化軽量化できるかなど、自分たちで考え発表しました。今後起こりうる巨大地震に備え防災意識が高まる発表でした。

また、福祉体験、自然体験、藍染体験、そして、移住者の方によるあまべ牡蠣の養殖、たけ灯り制作体験などいろいろな方向から穴喰地区の魅力について学びました。地域の魅力を再認識するとともに、人の温かさや思いやりに触れ多くの事を学びました。



突喰小学校

発表の間には画面を通しての質疑応答の時間を設け、中学生と小学生がお互い手を挙げ、積極的に意見の交換をしました。

「突喰を知らない人を知ってほしい。」

「私たちが調べられなかったことを、中学生が調べてくれてよかった。今まで知らなかったことが知れたので、学んだことを災害時に利用したい。」(小学生)

「コロナでZOOM発表となったが、意見交換できてよかった。」 「(皆の発表を聞いて) 今何をすべきか学んだ。今後防災に活かしたい。」(中学生)

小中学生共、突喰地区現状を知り、多くの気づきがあり今後の課題を見つけることができました。



突喰中学校



## 海陽中学校野外体験活動

3月18日(木)、海陽中学校2年生48名が、防災学習の一環として災害時に備えた野外活動を実施しました。2班に分かれて野菜を切るなど、災害時用の大きな炊き出し鍋でのカレー作りを行いました。そのほか、地震のメカニズム、毛布を使ったけが人の搬送方法や消火器の使い方などを学びました。「本当に火事の現場に出会うと怖いかもしれないが、頑張って消火に協力したい。」と話してくれました。(写真：表紙)





今年の節分は214年ぶりの2月2日でした。海南保育所・海部西保育所・海陽幼稚園の子どもたちは、大きな声で「鬼は外！」と言いながら元気に豆まきを楽しみました。



## 海南保育所・海部西保育所



保育所では、大豆の代わりに、紙で作った大きな玉を鬼に向かって投げました。最初は怖くて鬼に近づけなかったけど、だんだん上手に投げれるようになりました。最後には無事「おこりんぼう鬼」、「泣き虫鬼」、「いやいや鬼」などたくさんの鬼を退治することができました。「怖くなかった。泣き虫鬼が退治できたよ。」と話してくれました。海南保育所では最後は鬼と一緒に「鬼のパンツ」を楽しく歌いました。



## 海陽幼稚園



海陽幼稚園では、自分で作ったお面を被り鬼を目がけて豆を投げました。逃げる鬼にみんなで集中攻撃！最後には鬼が泣きだしてしまいました。幼稚園でも「めんどくさい鬼」、「忘れんぼう鬼」など、心の中のいろんな鬼を無事退治することができました。「最初は怖かったけど、豆を投げてるうちに怖くなくなった。」とか、「ピーマン嫌い鬼を退治することができた。」と話してくれました。「これからも僕たち、私たちを見守ってね。」と子ども達は鬼と約束しました。



## 海陽中学校卒業記念植樹



枯れ木伐採の様子

で多くの松が枯れました。地上薬剤散布をしてもなかなか追いつかず、松の木もかなり少なくなりました。また、被害が及ばないように、枯れてしまった木は伐採するので多くの松の木がなくなりました。今年はずでに1,500本ほどの木を切りました。

大里部落は7年前から、海陽中学校3年生と卒業記念植樹を行っています。毎年1年生が種を蒔いたり、こぼれ種で芽吹いた苗を育てたりして、卒業する頃に約30センチに育った苗木を植えています。まず、県の職員や大里部落長 佐藤和久さんの松林の被害や現状について説明



松林の現状について説明を聞く中学生

を聞きました。その後、大里部落の方が植樹予定の場所に穴を掘り肥料を入れて、目印となる棒を立てて準備をしたところにひと株ずつ丁寧に植えました。今年度は中学生



植樹の様子

2月12日(金)、大里松原で海陽中学校3年生38名と大里部落の有志の方々が松林の植樹を行いました。大里松原は徳島県で唯一日本の白砂青松100選に選ばれています。白砂青松とは、白い砂浜と青々とした松林の続く海岸線を意味し、海岸の美しい景観を表しています。

しかし、数年前から松食い虫や塩害でその面影も無くなりつつあり、特に2019年の大型台風

生が育てた松の苗木100本、大里部落が準備した苗木300本の計400本を植えました。

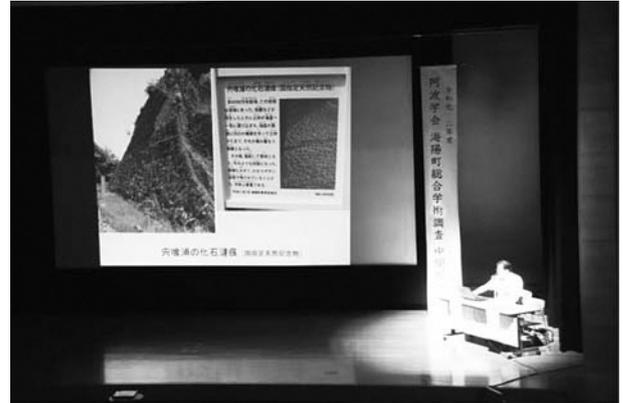
大里部落長は「古里を思いやり、こうして関わってくれるのが大事」、また生徒たちは、「全部生えてほしい。」「これからもこの自然が続いてほしい。」などと話してくれ、一生懸命作業をする姿に、松原を守りたいという強い思いが伝わってきました。

## 海陽町阿波学会総合学術調査

令和元年・2年度にわたって行われました海陽町阿波学会総合学術調査が、令和3年3月13日（土）の最終報告会を持ちまして無事終了いたしました。調査にご理解とご協力頂きました関係者の皆様へ心より感謝を申し上げます。

### 調査をいただいた班

クモ類・貝類班	社寺建築班
民家班	地質班
考古班	植物相班
民俗班	地方史班
方言班	鳥類班
地理班	(計11班)



### 調査報告書を寄贈いただきました

阿波学会より海陽町へ調査報告書『阿波学会紀要第63号 海陽町総合学術調査報告』を寄贈いただきました。海陽町の新たな一面が見えてくる貴重な資料です。

寄贈された調査報告書は徳島県立図書館の他、海陽町内では海南図書館・穴喰図書館に設置予定となっています。また、調査報告書の内容は徳島県立図書館のホームページよりご覧いただける「デジタルライブラリ」にも掲載されています。

どなたでも無料でお読みいただけますので、ぜひ、お読みください。



調査報告書に関するお問い合わせ先

阿波学会事務局（徳島県立図書館） TEL 088-668-3500・FAX 088-668-6904

# 移動図書館



約2000冊の本を乗せて、保育所・幼稚園・小学校など、小さなお子さんのもとへ、図書館から遠いところにお住まいの方、移動図書館車「まつかぜ」がお伺いします。

「まつかぜ」は、町内9ヶ所のステーションを2週間に1回巡回しています。本を借りるには図書館のカードが必要です。カードを持っていない人は申し込みをしてください。皆さまぜひご利用ください！

コース	場 所	時 間
海部コース (第1・第3水曜日)	海部小学校	10:00~10:40 12:40~13:30
	二葉保育所	15:00~15:30
穴喰コース (第1木曜日)	穴喰小学校	10:00~10:40
	穴喰保育所	11:00~11:30
	穴喰小学校	12:40~13:30
穴喰コース (第3木曜日)	穴喰小学校	10:00~10:40 12:40~13:30
		穴喰小学校
穴喰コース (第2・第4水曜日)	海部西保育所	9:30~10:00
	竹ヶ島	12:50~13:40
浅川コース (第2・第4木曜日)	海南保育所	10:00~10:30
	海陽幼稚園	10:30~11:30
	浅川漁村センター	14:15~15:00

移動図書館運行表

※日程を変更する場合があります。



## 阿南市電子図書館利用登録のお知らせ

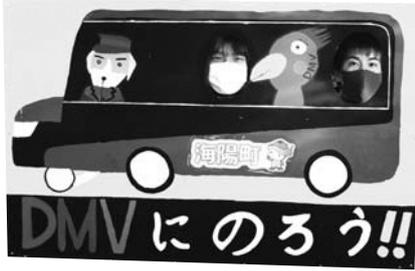
24時間いつでも、どこでも、好きなときに利用することができる電子図書館。お手持ちのパソコン・タブレット端末・スマートフォンから電子図書を借りて、読んで、返却することが可能です。

海陽町にお住まいの方は、阿南市立阿南図書館、阿南市立羽ノ浦図書館、阿南市立那賀川図書館、那賀町木頭図書館、美波町日和佐図書・資料館、牟岐町立図書館の利用が可能です。そして、4月から海南図書館・穴喰図書館で阿南市電子図書館の利用申請ができるようになります。

電子図書館の申請について詳しくは海南図書館、または穴喰図書館までお問い合わせください。

お問い合わせ先：海南図書館(0884)73-3591・穴喰図書館(0884)76-1030

## 顔出しパネル



令和3年度に運行開始の世界初DMVが文化村発着となります。そこで、多くの方に楽しんでもらうために、海部高校の美術の授業を選択している3年生22名が顔出しパネル6枚を作成しました。たくさんある海陽町の自慢のうち、6つを鮮やかなタッチで描いてくれました。

DMVの他、轟の滝、母川のオオウナギや蛍、サーフィン、大里古銭の楽しい顔出しパネルです。「たくさんの人にDMVに乗ってもらいたい。」と話してくれました。今後は文化村のいろんなところに設置予定です。お楽しみに！

## 徳島県中学校新人大会結果

### ★バスケット男子

2回戦	海陽中	93	－	38	市場中	R 2.11.3	海陽中体育館
3回戦	海陽中	85	－	28	高浦中	R 2.11.21	松茂町総合体育館
準々決勝	海陽中	49	－	50	藍住東中	R 2.11.22	松茂町総合体育館

### ★卓球男子(団体) R 3.1.23 (会場：とくぎんトモニアリーナ)

2回戦	海陽中	3	－	1	土成中	3回戦	海陽中	3	－	2	高浦中
準々決勝	海陽中	0	－	3	津田中						

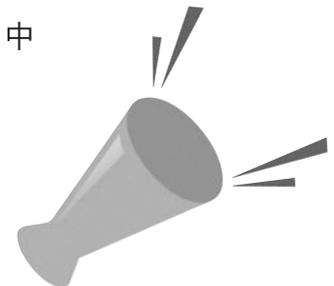
### ★バドミントン男子(学年別個人) R 3.2.6 (会場：とくぎんトモニアリーナ)

1年シングルス 3位 寺崎 隼颯(穴喰中)

1回戦	2	－	0	藍住東中	2回戦	2	－	0	加茂名中
3回戦	2	－	0	川内中					
準々決勝	2	－	0	北島中	準決勝	0	－	2	城東中

1年ダブルス 3位 村上文哉・寺崎隼颯ペア(穴喰中)

2回戦	2	－	0	城東中	準々決勝	2	－	0	藍住中
準決勝	0	－	2	小松島中					



## 梅田純一先生の陶芸教室のご案内



月2回開催いたします。希望者は海陽町教育委員会までご連絡ください。

- 日 程
- 《前期》 4月24日(土)・25日(日)  
 5月 8日(土)・ 9日(日)  
 6月 5日(土)・ 6日(日)
- 《後期》 9月11日(土)・12日(日)  
 10月 2日(土)・ 3日(日)  
 11月 6日(土)・ 7日(日)
- 午前10時45分～午後2時頃  
 (昼食を各自ご持参ください。)

- 場 所 海陽町船津字北路64-2  
 (旧 杭ノ瀬小学校 梅田純一先生宅)  
 TEL(0884)76-3539  
 ※車のナビは住所で検索してください。

- 料 金 1回 2,000円(材料費)  
 ※講師料は、梅田先生のご厚意で無料です。

### ■申込先・お問い合わせ

海陽町教育委員会 TEL(0884)73-3100  
 FAX(0884)73-3833



※氏名・住所・電話番号・希望日  
 をお願いします。

※途中からの参加も可能です。

※欠席や変更の連絡は不要です。

※飯茶碗2個と盛鉢1皿ができる  
 1日コースもあります。

当日教室で申し出てください。

ろくろを使わず簡単にできます。

皆さまお気軽にご参加ください。

穴喰俳句 二月例会より

二日めのカレーを食べてをり冬の日	外山千佳
ちろちろと雀ら駆ける冬の畑	朝賀ます美
カレー煮るどこか幸せ冬日和	山本球子
初買や夫の好物レジかごに	元木栄子
ぞんぶんに左義長の火の立つてをり	新井久実
青のりを散らすだし巻寒卵	高戸眞理子
初日浴ぶ犬一匹と子と孫と	川野佳代
はらからの四人が二人つは咲けり	長岡達江
菜の花や移動スパー行く方に	元木朱子
恋猫を見習え草食系男子	新井駿也
春隣介護ベッドの相談に	間戸谷恵子
着ぶくれて老いと向き合う齢かな	樽井みつ子
夕食は鍋物と決め寒い朝	梅田千恵子
早春や靴紐きゅつと結び行く	寺崎照代
初詣この錠剤をのんでから	木下野生

海南俳句 二月例会より

齊打つ終生父の真似をして	田中たち子
抱きとりて赤子の匂ひ春近し	谷口洋根子
薄氷そうつと持った孫の笑み	平道はつ子
野焼して集落広くなりにつけり	鍛治崎郁夫
経緯の織りなす調べ機始め	北川花
手慣れたる古き鋏にも注連飾り	新居利之
日記果つ余白は多く事もなし	山本達平
白魚の膾も有りてコップ酒	森口豊子
城山に開く展望春近し	岡田啓
初日記つつがなき日の続くよう	吉田公子
年明けて孫もしつかり大地踏む	岳山祐弘
ちやぶ台の雑煮の餅は二つかな	吉田保則
梅ふむむ昨日も今日もゆるゆると	橋本幸子

### 海部ひまわり俳句

遊山箱広げ眺むる那佐の海	津田 一
寺の鐘鳴つて鳴きやむ寒雀	西本 公明
冬入り日海山染めて空染めて	榊原 礼子
杖頼る夫の足にも春よ来い	南 歌子
横たわる古梅一枝のみ花咲けり	元木 美枝子
亥の子虫白を纏いて初雪に	佐藤 美代子
散歩道なかよく大根干してあり	穴戸 道子
腕白の人より泣きて卒業す	濱川 雅男
人の世の音をはるかに山眠る	川野 照美
木漏れ日に妖精みたり瑠璃鵜	村田 恵巳
啓蟄に火星ミミズも今日は	穴戸 保夫
City streets empty, Through the night searching for truth, Days gone by come back...	関山 無門
空の世の真は何処に走馬燈	

### 海陽短歌会

城満寺やさしく点る竹灯りコロナ終息ねがいておりぬ	小笹 仁子
石垣の日だまりの窪に寒すみれ香り豊かに花色の濃し	桑村 未貴子
寒椿凍てつく谷にただ二輪春たつよき日に紅を灯しぬ	大久保スエ子
紅梅の開花を日々に見つっおりどこか遠くをたゆたう心に	土谷 公代
空箱で孫の作りしトラックをもう八年も捨てきれずいる	蛭子 美恵子
野焼されきらめく川に白鷺は羽を広げて水面けりゆく	柙岡 節子
会葬の喪服ばかりの中にひとり白きコートの娘のたたずみぬ	細野 綾子

### 網代川柳一月句会より

利子つかぬ人生だけど幸せや	太田 一洋
児を生んで娘が急に親の顔	井上 可楽
急がない行き着くところは同じ場所	石垣 小道
横車押すと信号赤になる	風呂谷 幸子
新人の挨拶夢のある言葉	黒岩 一平

# 文化村ピアノ

どなたでも  
自由に弾けます。



町民の方や来館した方に  
気軽に音楽を楽しんでもらう  
ため、阿波海南文化村いきい  
き館に電子ピアノを設置しま  
した。音楽を通じて会話がは  
ずみ人と人とのつながりも生  
まれます。

素敵なピアノの音色をみんな  
でシェアしませんか。

演奏時はマスクの着用をお願いします。  
ピアノを弾く前は手指消毒にご協力をお願いします。  
弾き語りや他の楽器との合奏はご遠慮ください。  
皆さま譲り合ってお楽しみください。

## 木工体験

4月から木工体験が  
完全予約制となります。  
1週間前までにご予約ください。

とき：毎週 木曜日・日曜日 午前 9:00～午後 4:00  
場所：阿波海南文化村工芸館



新メニュー  
です。



▲竹のお箸と箸置き 600円

◀木製 ネックレス 800円